



minami
shinshu
ニッポンの日本。

すきです

南信州

南信州発、高級スイーツいかがですか —大学生との共同開発「贅沢な実」の販売開始—

南信州広域連合と愛知大学の学生による共同事業により誕生した新商品「贅沢な実」が、昨年12月から中京圏のスーパー等を中心に販売開始されました。

(写真上)愛知大学内での販促活動と店頭に並ぶ商品

(写真下)報道発表時の様子

【関連記事6ページ】

圏域内の人口・世帯数(2014.2)

人口 165,164人

世帯 58,806戸



調査研究プロジェクト 平成25年度の報告 ··· 2、3

平成26年度 南信州広域連合予算の概要 ··· 4

次期ごみ処理施設整備事業について ··· 5

南信州公共交通・広域振興の広場 ··· 6

飯田広域消防からの住民の皆さまへ ··· 7

後援・開催情報 ··· 8

調査研究プロジェクト 平成25年度報告

高等教育機関設置プロジェクトに関する報告

リニア時代を迎えるにあたり、地域の将来を担う人材確保が大きな課題となることから、高等教育機関設置に向けた情報収集や検討を行うことにしました。シンポジウムの開催ほか、勉強会や視察を行う中で、今後の検討方向を以下のとおりとしました。

- 飯田女子短期大学や飯田コアカレッジといった教育機関、学輪 IIDA や飯田産業技術大学等の取組みの一層の充実を図る。
- グローバル化に対応した高等教育機関として、特定の専門分野に関する大学院大学の検討を行う。分野としては、「デザイン系」を軸に、産業界等の取組と連携して研究を進める。
- 旧飯田工業高校の校地校舎は、リニア中央新幹線の駅予定地に近く、知的集積の拠点として最適な位置にあることから、活用計画の検討を行い、長野県に対して要望を行う。



視察風景：浜松ホトニクス（株）中央研究所

看護師等確保プロジェクトに関する報告

飯田下伊那地域では、近い将来、看護師等の不足が懸念されています。このプロジェクトは医療福祉分野で看護師不足が発生しないよう、広域連合としての取り組み事項を以下のとおり提案しました。

- ナースセンターの効果的活用と求人情報の発信
- 地元看護師養成校学生への修学支援
- 看護師養成校への地域推薦枠の確保（信州木曾看護専門学校ほか）
- 近隣養成校入学者への修学支援

このプロジェクトでの検討は、新たに発足した「飯伊地区看護師等確保対策推進協議会」に引き継がれます。上記の提案内容については、引き続き 広域連合内部でより具体的な検討を進めていくこととなります。

※南信州広域連合では、今年4月に開校する「信州木曾看護専門学校」の地域推薦枠として、未来の看護師を推薦しました。

リニア地域づくりプロジェクトに関する報告

今年度は、環境影響評価準備書の公表によりルート及び駅位置が示され、リニアに関する様々な取組が本格化するスタートの年となりました。このプロジェクトでは、準備書に対する広域連合の意見の検討や、建設発生土の活用、運搬といった課題に対応するために、県やJR東海との連絡調整を行ってきました。

プロジェクト事業としては、11月に「まちづくりスタートアップ講演会」、2月に「リニア将来ビジョンの具体化に関する実務者等との検討会」を開催し、リニア中央新幹線の開業時代を見据えた地域づくりに向け、南信州の可能性や備えを具体化していく足掛かりとなりました。

「リニア将来ビジョンの具体化に関する実務者等との検討会」開催

2月7日、東京都内の「日本都市センターホテル」会議室で開催され、広域連合構成14市町村の内、連合長の牧野飯田市長をはじめ12市町村の首長らが出席し、各分野で活躍されている実務者、有識者との意見交換を行いました。

○各実務者・有職者からの主な提言内容

朝比奈一郎氏（青山社中（株）代表）コンサルティング

『自治体が雇用の創出や産業振興にどこまで関わるか、
また雇用や産業を生み出せる人材を地域に連れてくることが重要。』
『シンボルをつくり、人を呼び込む。』

向殿政男氏（明治大学名誉教授）安全学・情報学

『日本国内におけるエネルギー等のリスク分散を南信州が担い、
安心、安全な地域を売りにしていく』

橋本正洋氏（早稲田大学教授）イノベーション学・技術経営学・知財戦略

『地域ブランドを構築し、権利（意匠権）を保全しておくことが重要。』

伊藤宏子氏（（株）泰文館社長）出版社 季刊誌「住む」発行

『何もない地域と言うが、裏を返せば普通に暮らしていいこと。
南信州は、心地よく暮らすには最適な地域であるということ。』

高橋秀典氏（Nutsコミュニケーション（株）代表取締役）IT事業等

『自治体が積極的に情報を開示することで、外部脳（一般人等）が
それを自由に活用し、結果として自治体が活性化した例を参考に。』
『IT環境（インフラ等）を整えれば、南信州は十分に仕事場になりうる。』

※平成26年度事業「南信州広域連合 基本構想・基本計画」の策定は、上記5名を含む実務者、有識者の助言、協働を受けて進めていく予定です。

リニア時代に向けて、そして安心で活力ある南信州を目指して



平成26年度 南信州広域連合各会計予算

平成26年2月20日、南信州広域連合議会第1回定例会において平成26年度各会計の予算(案)が可決されました。広域連合予算の総額は4,191,100千円であり、前年度と比較して101%、金額で28,100千円の増となりました。会計別では、一般会計が597,900千円の増で、主な要因は第4次広域計画策定事業やリニア関連プロジェクト事業、桐林クリーンセンター維持管理経費、次期ごみ処理施設整備事業の本格化などです。飯田広域消防特別会計は、平成25年度に消防救急デジタル無線及び新指令施設の整備が完了したことにより、571,000千円の大幅な減となっています。

平成26年度当初予算 総括表

単位:千円

会計名 区分	26年度	25年度	比較	対前年度比率
一般会計	2,074,400	1,476,500	597,900	140%
南信州広域振興基金特別会計	14,700	13,500	1,200	109%
飯田広域消防特別会計	2,102,000	2,673,000	△ 571,000	79%
合 計	4,191,100	4,163,000	28,100	101%

主な事業の紹介

【一般会計】

- 議会運営(定例会2回、臨時会、全員協議会、各検討委員会)
- 総務管理等(広域連合会議、第4次広域計画策定事業、調査研究プロジェクト事業ほか)
- 介護認定審査会の運営、老人ホームの入所調整
- 市町村審査会(障害程度判定)の運営、相談支援事業
- ごみ中間処理施設(桐林クリーンセンター)の運営
- 次期ごみ処理施設整備事業(敷地造成工事、事業者の選定ほか)
- し尿処理施設(飯田竜水園)の運営
- 桐林リサイクルセンターの運営



広域連合議会の開催

【南信州広域振興基金特別会計】

- 広域振興事業(愛知大学との共同研究、セカンドスクールの推進ほか)
- 地域イメージ・ブランド構築・推進事業(農産物の知名度向上事業)
- 地域情報発信事業(観光HPの運営管理、総合パンフレットの整備)
- 広域観光事業(東海圏における南信州の観光・物産PR事業ほか)
- 地域公共交通事業(南信州地域公共交通問題協議会との連携)



物産展で南信州のPR

【飯田広域消防特別会計】

- 車両整備事業(消防ポンプ自動車2台更新、15m級はしご車オーバーホール)
- 職員研修(消防学校、救急救命士研修所、病院研修ほか)
- 消防車両維持経費
- 地方債償還(デジタル無線等整備事業ほか)



オーバーホールを実施する15m級はしご車

南信州広域連合では、次期ごみ処理施設整備事業を進めています

現在稼働中の桐林クリーンセンターは、平成元年に旧処理施設の稼働を開始しました。

現在の処理施設は、平成14年から稼働を始めており、竜丘地区との協議により平成29年までの15年間、すなわち旧施設も通算しますと30年間、ごみ処理施設を稼働する約束となっています。

広域連合では、新たな施設の建設に当たり、今後の少子高齢化に向けて郡市民の皆さんの負担を軽減し、住環境への負担も極力軽減できるよう配慮して整備を進めて参ります。

【一般的なストーカ式焼却炉のイメージ構造図】

1. 次期施設の概要(予定)

処理方式(炉の種類)：ストーカ式焼却炉

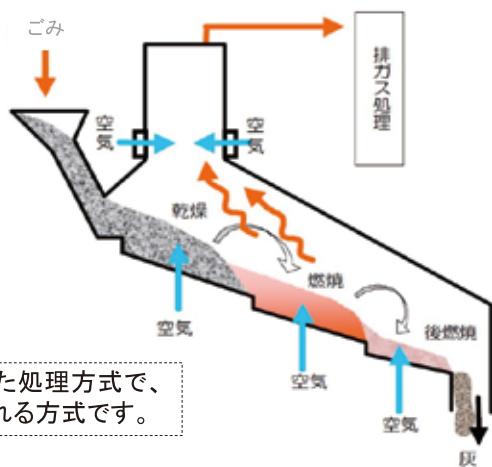
炉 数(焼却炉の数)：2炉

炉 形 式(運転時間)：24時間稼働(全連続運転)

規模(1日当処理量)：93t(46.5t×2炉)

処理量(年間処理量)：24,994t

余熱(焼却熱)の利用：発電



※ ストーカ式焼却炉とは、国内では古くから開発された処理方式で、国内では実績も最多く、技術が確立されたと言われる方式です。

2. 次期施設の特色

次期施設では、今までの「可燃ごみ」に加えて、新たに廃プラスチック類(容器包装プラスチックを除く硬質プラスチック、埋め立てプラスチック)を焼却処理可能とします。

3. 平成25年度に実施した主な事業

【生活環境影響調査】(H25.5～H26.4)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)に基づいて、生活環境影響調査を実施しています。平成26年4月まで1年間、整備予定地及び周辺の環境調査を事前に実施し、その調査結果に基づいて予測・評価し、必要に応じて適切な環境保全対策を実施するための調査です。

【測量】(H25.6～H26.3)

整備予定地の地形測量、用地測量。ごみ搬入道路の路線測量を実施しました。

【地質調査】(H25.7～H25.12)

整備予定地において、建設に向けた地質のボーリング調査、地下水の水量、水質の調査を実施しました。

【施設の基本設計の作成】

構成市町村と協議を重ね、ごみ量、ごみ質の調査などに基づき、次期ごみ処理施設の規模等をまとめ、施設の基本となる設計を行いました。

4. 今後の予定

広域連合では、次期ごみ処理施設の平成29年12月稼働を目指し、関連事業を進めて参ります。

また、新たにごみの分別区分が変わりますので、郡市民の皆さんの混乱を招かないように、構成市町村と協力して広報活動など早めの対応を行って参ります。

◆◆ 南信州公共交通・広域振興の広場 ◆◆

◇ 『第2次南信州地域公共交通総合連携計画』について

南信州地域は、地域性から自家用車の普及率が高く、公共交通の利用が少ない状況にあります。しかし、高校生や高齢者にとって重要な移動手段であり、今後も引き続き地域の社会資源として維持していく必要があります。

そこで当地域では、誰もが使いやすく誰にもやさしい公共交通をめざし、公共交通整備に関する基本的な考え方やサービスの水準を盛り込んだ『第2次南信州地域公共交通総合連携計画』を策定しました。核となる5つの目標に向けて、住民をはじめとする関係機関と14市町村が協働で取り組んでいきます。

- 南信州公共交通システムのブランド化
- 交通不便者に対応した公共交通の利便性向上
- 基幹路線に対する准基幹路線及び支線の効率的・効果的な接続
- 利用者の拡大
- リニア中央新幹線開通を見据えた新たな公共交通網の基盤づくり

◇ バスの時刻表の改正について

3月15日JR飯田線の時刻表改正に伴い、市町村が運行する路線バスの時刻表を改正します。詳しくは、南信州公共交通インフォメーションをご覧ください。
[\(http://kk.mi7mi.org/\)](http://kk.mi7mi.org/)

◇ 西部地区結節点停留所の名称を変更しました

阿智村に所在する、広域バス駒場線と阿智村巡回バス及び西部コミュニティバスの結節点である「学校前」停留所の名称を一般公募により「こまんば」停留所に改名しました。

◇ “スイーツ”として市田柿を若者へ提案

愛知大学との連携協力協定により、昨年度から「市田柿の高付加価値化」に取り組んできました。経営学部太田ゼミの学生4名が、若者世代への市田柿販路開拓をテーマに、アンケート調査や柿の収穫や皮むき作業を体験した中で「スイーツ」としての新たな価値を見出し「一粒を高級感あふれるパッケージで、こだわりの商品を展開する店舗で販売する」というアイデアが提案されました。

今シーズンは実際に「冬だけの贅沢な実」として商品化し、中京地区を中心に「KALDI」「成城石井」といった高品質の食材を取り扱う店舗で販売を行いました。1箱300円程度の価格にもかかわらず、中には早々に完売し追加注文をいたただける店舗もありました。また、愛知大学校内でも多数販売され、若者世代への市田柿の需要喚起、効果的なPRができ、市田柿の新たな価値の創造につながる事業となりました。



飯田広域消防本部から住民の皆様へ

たき火・火災ゼロ運動実施中

たき火・野焼きをする前に ここを確認!!

平成26年2月1日(土)~4月30日(水)

- 空気が乾燥し、風が強い日ではありませんか？
- 枯れ草など燃えやすい物のそばではありませんか？
- 消火のための水バケツや消火器は用意していますか？
- 最寄りの消防署に連絡をしましたか？

たき火・野焼き実施中は ここに注意!!

- 火の粉が飛ばないよう、少しずつ燃やしていますか？
- 火がついたまま、その場を離れようとしていませんか？

終わった後は ここを確認!!

- 再び燃え出さないように、しっかり消火をしましたか？



「家庭ごみの焼却は法律により禁止されています！」

消防の指令施設が新しくなりました

3月14日から
本格運用

指令施設が新しくなり、次の機能が充実しました。

1 119番通報している位置の早期特定

位置情報通知システムにより通報している場所が早期に確認ができるようになりました。

Point 位置情報通知システムでは、一般電話の登録状況や携帯電話の電波状況により通報位置を特定できない場合があります。119番をかける時は、落ち着いて署員の問い合わせに従い、住所や目標となる建物を伝えてください。

2 聴覚・言語障害等の方々からの緊急通報

聴覚・言語等に障害があり、119番通報時にうまく状況を伝えることができない方々からの緊急通報をFAXやメールで受信できるようになりました。

Point FAXは119番へ送信、メールは事前登録が必要です。
詳しくは、ホームページ (<http://www.119.iida.nagano.jp>) へ



3 火災等の問い合わせ

火災が発生し、場所がよく分からぬといった場合にテレフォンサービスで案内します。また、火災が発生していない平常時には、休日夜間等の当番病院の問い合わせ先をご案内しています。

Point テレフォンサービス番号 0265-22-5500

消防自動車などの緊急通行に対するご理解とご協力をお願いします

○ 自動車やバイクの運転中に緊急自動車が近づいてきたら？

消防自動車や救急自動車などの緊急自動車は、消火活動やケガや病気の人の搬送など、緊急性の高い業務を行うことから、道路交通法において、赤信号の交差点に進入することができるなど、多くの特例が認められています。しかし、緊急自動車が安全に通行するためには、一般車両の協力が必要不可欠です。



緊急自動車に進路を譲っていただき、安全な通行にご協力をお願いします。

開催情報

飯伊地区 医療職合同就職ガイダンスが開催されます

一医療関係団体による学生と中高生のための就職総合相談会一

期 日 : 平成26年4月26日 (土)

時 間 : 午後2時～午後4時

場 所 : 飯田女子短期大学 看護棟 (飯田市松尾代田610)

内 容 :

- 医療機関ごとのブースガイダンス
- 研修医と看護師による相談ブース
- 中高生の進路相談ブース
- 体験コーナー

参加対象者 :

- 飯伊地区で医療機関への就職に
関心をお持ちの方々
- 医師や看護職等医療職を希望する学生及びその保護者等
- 医療機関への就職に関心のある学生及びその保護者等
- 医療機関への復職希望者
- 大学・高校・中学校の進路指導担当者

求人職種 :

- 医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師
- 准看護師・放射線技師・臨床検査技師
- 臨床工学技士・理学療法士・作業療法士
- 言語聴覚士・栄養士・歯科衛生士
- 社会福祉士・介護福祉士・介護職・事務職

その他 :

- 事前予約不要
- 求職者・医療機関側とも参加費無料

お問い合わせ先 :

飯伊地区包括医療協議会
(TEL 0265-23-3636)

お知らせ

飯田・下伊那地域の 事業主の皆様へ 事業所の福利厚生に

飯田勤労者共済会に入会しませんか！

飯田・下伊那地域の事業主と行政が一体となって、地域で働く勤労者の福利厚生事業を行っています

入会金及び会費(1人あたり)

- 入会金 200円
- 会 費 300円
- 負担金 300円(年1回・6月)

入会できる方

- 事業主・従業員・家族従業員・パートタイマー
- ・事業所単位で2人以上の入会が必要です。
- ・65歳以上の方も入会できますが、給付の制限があります。

多彩な事業・会員特典

共済給付事業

- 会員のお祝い金・お見舞い金・退職慰労金

- ①結婚 ②出産 ③小中学校入学 ④金婚・銀婚 など

健康維持増進事業

- 会員の健康へのお手伝い

- ①インフルエンザ予防接種費用助成 ②ゴルフコンペプレイフィー助成 など

余暇活動事業

- 会員の充実した余暇活動を応援

- ①公共温泉施設日帰り入浴券(20%引き)②人形劇フェスタワッペンあっせん

- ③ワインセミナー ④スポーツ観戦助成(プロ野球・大相撲・サッカー・ラグビー) など

老後生活安定事業

- 会員の老後生活を応援 ①定年準備セミナー 無料(年2回)

サンヒルズいいだ

- 各種講座・温水プールの割引 ②講座受講料の50%(上限 2,625円)を年1回割引

・温水プール料金1回 400円を 250円に割引

*** お子様の入学時期が間近です。3月中に入会されると、入学祝金(小中学校)が給付されます。**

お問い合わせ

〒395-0024 飯田市東栄町3108-1 TEL: 0265-52-6566

(一財)飯田勤労者共済会

ホームページはこちらから

飯田勤労者共済会



南信州広域だより Vol.62 2014.3

南信州広域連合 飯田市追手町2丁目678(長野県飯田合同庁舎内)

minami
Shinshu
ニッポンの日本。 TEL0265-53-7100 FAX0265-53-7155 URL http://mi7mi.org/
南信州の観光情報は「南信州ナビ」へ http://www.li-s.org

